



がんプロフェッショナル養成プラン採択のおしらせ

概要

文部科学省の国公立大学を通じた大学改革の支援事業の一つである「がんプロフェッショナル養成プラン」に本学が幹事となり申請したプログラムが採択されましたのでお知らせします。

■背景

「がんプロフェッショナル養成プラン」とは、文部科学省の支援事業であり、質の高いがん専門医等を養成するための優れた教育プランに対し国として財政支援を行うものです。

今回、九州の13大学（九州大学、福岡大学、産業医科大学、久留米大学、福岡県立大学、長崎大学、大分大学、佐賀大学、熊本大学、九州看護福祉大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学）が連携・共同して申請した教育プログラム「九州がんプロフェッショナル養成プラン」が採択されました。

■内容

「九州がんプロフェッショナル養成プラン」は、本年4月に施行された「がん対策基本法」に則り、がん医療に対する専門的な知識及び技能を有する医療従事者を養成し、九州どこにいても質の高いがん医療が受けられる（がん医療の均てん化）ことを実現するための教育プランです。具体的には、九州の13の大学、地域のがん拠点病院および緩和ケア専門病院が連動した一大九州医療ネットワーク（九州がんプロフェッショナル養成協議会：本部は九州大学）を構築し、行政や医師会との連携を深めつつ九州全域の質の高いがん医療の均てん化に向かって成長し続けるように作られています。特徴的なことは、単に複数の大学が集合するのではなく、各大学は各々の特色を生かした独自の教育プログラムを作成し、互いの教育プログラムを共有することで1+1=2以上の質の高い教育が実現可能なように工夫されている点です。本教育プログラムを終了した医療従事者は、この医療ネットワークを通じて九州各地へ配置され、がん医療の専門医として、さらには、次のがん医療の担い手を育成するための指導者として活躍することになります。

■今回の採択について

がん医療に関係した九州の全ての大学が「九州地区における質の高いがん医療の均てん化を実現する」という目的のため一同に会して知恵を出し合いプランを作成し、そのプランが採択されたということは、大変大きな意義があります。それは真の意味での、九州の13の大学が団結し九州全体の医療を見据える、医療連携ネットワークが誕生し、その力を発揮するチャンスが与えられたことです。さらに、この支援事業が単なるがん専門医を養成するためのものではなく、がん治療における指導的な立場を担う人材育成（がん研究の学位を取得した専門治療医）のための教育プランを支援するためのものだという点が、本プランに採択された意義をさらに大きなものにしています。また、このプログラムでは医師だけではなく、専門看護師および専門薬剤師の養成プランが同時進行します。これによって、がんに対する専門医療チームが誕生します。すなわち、このプランを実現してゆくことは、次々と質の高いがん専門医療チームが誕生することになり、年々九州におけるがん治療の均てん化の質が高まっていくという良循環が形成されることになります。私たち、九州の13大学は一致団結して本プランを力強く推進致します。（九州大学医学研究院長 高柳涼一）

【お問い合わせ先】

（プログラムの内容に関するお問い合わせ）

教育プランについて：片野光男（先端医療医学部門・腫瘍制御学）電話：092-642-6219

九州がんプロフェッショナル養成協議会について：前原喜彦（消化器・総合外科学）電話：092-642-5461

（その他のお問い合わせ）

学務部学務企画課 松尾 電話：092-642-7123 FAX：092-642-2252

Mail：gakikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp